

地域づくりネットワーク会議 ニュース

～ 第26号 ～

第18回ワーキング会議

『第3回 (仮称) 堀田を愛する会の準備会<見学・実践編> 堀田の田植えを見学・体験しよう!』を開催しました!!

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される「(仮称) 大江緑道」の魅力づくりの方策を検討していくため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

昨年度には、アクアワールド水郷パークセンターにおける堀田の再生に向けて、住民主体の運営組織をめざして「(仮称) 堀田を愛する会の準備会」を設立しました。

平成26年6月6日(金)、その第3回準備会として、海津市歴史民俗資料館の堀田での田植えを見学・体験しました。その内容や参加者の意見をお伝えします。

■ 第18回 ワーキング会議

『第3回 (仮称) 堀田を愛する会の準備会<見学・実践編>

堀田の田植えを見学・体験しよう!』の概要

■ 日時：平成26年6月6日(金) 午前9時30分(集合)～ 午前11時00分

■ 場所：海津市歴史民俗資料館

■ 内容：歴史民俗資料館の堀田で、田植えを見学・体験。

田植え、田舟、長じょれんを使っての「面付け、どべあげ」など、堀田独特の営農法を見学・体験しました

参加者：(仮称) 堀田を愛する会の準備会メンバー、事務局 22名

主催：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所

共催：海津市



▲当日の田植えの様子 西江小学校、高須小学校など5校から約200人の児童が田植えに参加しました。

■当日の見学・体験内容

これまで（仮称）堀田を愛する会の準備会では、地域の文化と景観を次世代へ伝えるために、堀田の整備や活用について議論してきました。今回は、会議室を飛び出して、海津市歴史民俗資料館のご協力で堀田の田植えを見学させていただくことになりました。当日は、子どもたちの田植えを見学し、じょれんの作業も教えていただくなど、身をもって体験することで、アクアワールド水郷パークセンターでの堀田再生に向けて、より具体的に活用方法などをイメージする機会となりました。

●海津市歴史民俗資料館 加藤特別指導員からのお話し

- ・ 農業地域の西江小学校の子どもたちでも、現状の農業は機械で実施するので、田植えの経験がない子供が多い。
- ・ 200 人の児童を受け入れると、1人当たり数本しか田植え体験できない現状だ。もっと大きな堀田がアクアワールド水郷パークセンターに再生されるのを楽しみにしている
- ・ 長じょれんの作業は、失われつつある、「堀田農作業」の代表だ。多くの人に体験してもらって次代へ継承したい。

●参加したメンバーの意見

- ・ 堀田での農作業をちゃんと見たことがなかったので、良い機会になった。
- ・ 子どもたちが生き生きと田植えを楽しんでいた。堀田の面積が小さく、あっという間に田植えが終わってしまったので、参加できず、少し残念。
- ・ 長じょれんの使い方は本当に難しくてしんどい。低地のくらしの大変さを、少しだが、感じる事ができた。



加藤先生から、歴史民俗資料館の堀田についてお話しがありました。



▲じょれんを使っての「どべあげ」「面つけ」の実習をメンバーが体験しました。

今後の予定 ※日程、場所は変更の可能性があります

○第4回「（仮称）堀田を愛する会の準備会（会議編）」

開催日時：平成25年7月中旬ごろ

開催場所：アクアワールド水郷パークセンター レストハウス2F

○平成26年度 第2回「海津マルシェ会議」（※関係者主体の会議となります）

開催日時：平成25年7月中～下旬ごろ

開催場所：アクアワールド水郷パークセンター レストハウス2F



発行：国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 河川公園課

TEL：0594-24-5719

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>